

2017年度 事業報告書

2017年 4月 1日から 2018年 3月31日まで

特定非営利活動法人JUON NETWORK

1 事業の成果

組織についてのあり方を見直す年だった。常任理事会・理事会・総会等で組織診断、顧客の分析、成果基準の策定、ミッションの見直しに取り組んだ。「森林の楽校」は16ヶ所、「田畑の楽校」は2ヶ所で開催した。また、「多摩の森・大自然塾」では、中高生・学生対象の活動を2回実施した。1月には新たなウェブサイトを開示することができた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数 (実数)	受益対象者の範囲及び人数 (のべ数)	事業費の金額
都市と農山漁村を結ぶ「自然と文化のネットワーク」づくりに関する事業	<ul style="list-style-type: none"> 総会記念イベント 情報ネットワークの充実 講師紹介・派遣活動 田畑の楽校 展示会等での活動紹介 団体会員報告会 地域拠点のモデルづくり 東日本大震災復興支援 エコサーバー（人材育成） 6地域ブロックの活動 ニュースレター 	6/24～25 通年 4/21～通年 4/29～30他 5/24～30他 10/20 4/1他 5/5 7/8～9他 4/8～通年 年4回	奈良 東京 全国各地 山梨・和歌山 東京他 東京 兵庫 宮城 東京他 全国各地 東京	15人 5人 5人 6人 10人 6人 5人 2人 5人 45人 8人	170人 不特定多数 1000人 82人 500人 55人 81人 20人 40人 400人 2400人	12,063,677円
森林の保全・育成・ボランティア活動に関する事業	<ul style="list-style-type: none"> 森林の楽校／森林ボランティア青年リーダー養成講座 「樹恩割り箸」の普及推進 「樹恩の森」の運営 「緑の募金」の推進 ヤングジュオン活動 「多摩の森・大自然塾 鳩ノ巣フィールド」の事務局活動 間伐材製「ベンチ」の普及推進 「樹の紙」製品の普及推進 企業の森づくり活動の支援 生協の森づくり活動の支援 	6/17～18他 通年 7/8他 通年 4/8他 4/17他 通年 通年 4/15他 4/22他	全国各地 全国各地 埼玉・徳島 大学生協 東京・京都他 東京 香川 徳島 埼玉・東京他 埼玉・東京	50人 15人 15人 3人 7人 3人 6人 4人 4人 4人	559人 100人 44人 不特定多数 93人 373人 不特定多数 10人 300人 500人	12,712,382円
過疎の廃校を活用したセミナーハウスの運営・支援に関する事業	<ul style="list-style-type: none"> 廃校活用 	6/17～18他	全国各地	9人	58人	—
地方文化の発掘と普及に関する事業	<ul style="list-style-type: none"> 情報の収集・発信 	通年	東京	5人	不特定多数	—

2017年度 事業報告 補足資料

〈2017年4月1日～2018年3月31日〉

認定特定非営利活動法人 JUON NETWORK

■設立20年目・第5次中期計画の検討の年

JUON NETWORKは本年度、設立から19年となり、20年目の年に入った。本来であれば、今年度は第5次中期計画をスタートする年であった。しかし、来年度は20周年を迎えるため、また、2017年1月から1年間「Panasonic NPOサポートファンド」(NPOの組織基盤を強化するための助成制度)の助成を受け、じっくりと今後の方向性について考え、次年度の総会で「20周年記念計画(仮称)」を策定しようと考えたため、中期計画を立てることを見送ることとした。

この1年は組織についてのあり方を見直す年だったと言える。パブリックリソース財団、京都大学経営管理大学院若林靖永教授の協力の下、1月～6月は常任理事会・理事会・総会等で組織診断について取り組み、以降は常任理事会・理事会等で顧客の分析、成果基準の策定、ミッションの見直しに取り組んだ。

■列島ふるさと再生全国フォーラム・持続可能な観光国際年・持続可能な開発目標

昨年度実行委員として参加した、農山漁村と都市を結ぶ活動の関係者が集う「列島ふるさと再生全国フォーラム」は、今年度は規模が縮小され、「Reborn ころのふるさとフォーラム」として行われ、参加した。

なお、17年は国連の「持続可能な国際観光年」であり、観光についてはJUONの活動とも親和性が高いことから会誌で取り上げた。また、15年に国連で定められた「持続可能な開発目標(SDGs)」についても、会誌で取り上げるとともに、関東甲信越地域ブロックでは大学生協と協力して学習会を行った。

■樹恩割り箸・森林ボランティア活動

「樹恩割り箸」の広報物の作成について、力を入れているところであるが、本年度も新たなポスターを制作した。なお、紹介映像は完成することができなかった。

「森林の楽校」では、NPOを映像で支援するトライポッドの協力により、1月から紹介映像を活用している。なお、16ヶ所での開催となったが、前年度比で参加人数は減少した。また、学生や高校生の参加が多くなっていることから、「多摩の森・大自然塾」では、中高生・学生対象の活動を2回実施した。

■災害復興支援活動

東日本大震災の直後から関わってきた宮城県七ヶ浜町において、5月に当時の子ども達の思い出が入ったタイムカプセルを開ける集いを実施し、河北新報でも取り上げられた。なお、水産品ツアーについては、補助がなく参加費が高額になることから、実施を見送った。

今年度も残念ながら、九州北部豪雨災害及び秋田大雨災害等の災害が起きてしまったが、ボランティア活動等の情報を発信した。

■人材育成

自然体験活動指導者(NEAL)制度に合わせて、「エコサバー」の仕組みを整備してきたが、本年度は、シニアリーダーになった次に、コーディネーター資格を取得するための演習の内容についてほぼ確立した。

なお、地域ブロックの運営体制の強化については、「Panasonic NPOサポートファンド」の2年目の助成の継続が決定したため、次年度にこの資金を活用して、取り組みたいと考えている。

■企業・他団体・大学生協との関係強化

大学生協との関係では、前年度に3つの事業連合が合併して誕生した関西北陸事業連合と懇談を持った。次年度は全国的に事業連合の合併が進むことになっているが、3年ごとに大学生協を対象に行っているアンケートも活かしながら、関係の強化に努める。

■組織・事務局の強化

前年度、企業のプロボノの協力を得て、ウェブサイトのリニューアルの準備を進めたが、本年度の1月に新たなサイトを公開することができた。

会員数については、残念ながら全体的には減少した(個人会員435名/前年452名・学生会員23名/前年20名・家族会員16名/前年18名・団体会員98団体/前年98団体)。会員の高齢化や、森林ボランティア青年リーダー養成講座の参加者の減少も原因の一部である。

1. 機関運営に関する事項

(1) 総会の開催・・・6月24日奈良県

設立19年を迎えた総会を行った。また、例年通り総会と併せて記念イベントを実施した。なお、大学生協全国環境セミナーとの共同開催は6回目となる。

- ・2016年度事業報告・決算の承認
- ・2017年度事業計画・予算の承認
- ・役員を選任

(2) 理事会の開催

従来通り、実質的な理事会の開催は年2回であった。昨年同様理事会終了後に交流会を設けた。

- ・第67回(2016年度第4回)理事会 6月24日(総会直前/事業報告・決算承認)
- ・第68回(2017年度第1回)理事会 10月22日(前期総括・後期展望)
- ・第69回(2017年度第2回)理事会 3月18日(次年度事業計画・予算案承認)

(3) 常任理事会の開催

従来通り、常任理事会中心の運営とした。

- ・第79回(2016年度第4回)常任理事会 5月27日(東京)
- ・第80回(2017年度第1回)常任理事会 9月3日(東京)
- ・第81回(2017年度第2回)拡大常任理事会 12月3日(東京)
- ・第82回(2017年度第3回)常任理事会 2月4日(東京)

(4) 専門委員会の開催

- ・エコサーバー実施委員会 未開催
- ・樹恩割り箸専門委員会 3月10日
- ・森林の楽校・グリーンツーリズム専門委員会 未開催

(5) 世話人会の開催

- ・北海道東北地域世話人会 世話人会 4月28日 6月26日
打合せ 7月11日
森林の楽校合同会議 5月17日 11月1日 3月20日
- ・関東甲信越地域世話人会 世話人会 5月9日 6月16日 7月20日
9月4日 10月3日 11月14日
12月19日 1月11日 1月30日
2月22日 3月28日 3月31日
- ・東海北陸地域世話人会 : 特になし
- ・関西中国地域世話人会 拡大世話人会 9月10日 3月25日
森林の楽校(宍粟)実行委員会 4月23日 5月21日 6月9日
7月12日 8月20日 11月18日
- ・四国地域世話人会 世話人会 4月21日 5月23日 7月5日
9月8日 11月24日
割り箸記念誌編集会議 5月30日 6月14日 6月20日
香川会世話人会 8月10日 9月4日 9月7日
3月7日
- ・九州地域世話人会 : 特になし

2. 活動に関する事項

(1) 都市と農山漁村を結ぶ「自然と文化のネットワーク」づくりに関する事業

各地域ブロックでの活動を中心に、また各地域ブロックの活動が推進されるような活動を進めた。

①総会記念イベント

2017年度も総会と併せて記念イベントを実施した。大学生協全国環境セミナーとの共同開催。

6月24日～25日 総会記念イベント「まほろばで『サステイナブル』を考えよう！

～小さなコトからコツコツと～(奈良県奈良市)

170名(内、個人会員43名、学生会員1名、家族会員1名、JUON側一般参加者10名)

②情報ネットワークの充実

・ウェブサイトのリニューアルを行う。ブログやSNS等により情報発信頻度を高める。

：サービスマガジン・日立ちよこプロの協力により準備してきたウェブサイトのリニューアルを1月15日に実施した。ブログは月1回以上、Facebookは平日毎日更新した。

・メールマガジンを月1回発行する。：毎月15日に発行した。

③エコサバー(人材育成のための資格検定試験)

ここ数年と同じように、サポーター(基礎)コースの主催セミナー・検定試験は今年も実施しなかったが、リーダー(専門)コース(リーダー養成講座)、シニアリーダーコースを開催した。なお、森林ボランティア青年リーダー養成講座(東京・関西・四国)もリーダー(専門)資格を取得できる講座とした。リーダー(専門)資格を取得すれば、CONE(自然体験活動推進協議会)が事務局を担う「自然体験活動(NEAL)リーダー」も取得できる。なお、リーダー(専門)からシニアリーダー資格を取得するための演習の内容を昨年度確立したが、今年度は、シニアリーダーからコーディネーターになるための演習についてほぼ確立することができた。

○エコサバーセミナー・検定試験 サポーター(基礎)コース：単独では未実施

※検定試験は、森林ボランティア青年リーダー養成講座の参加者等を対象に実施した。 6名

○エコサバー・リーダー(専門)養成講座

7月8日～9日 第13回エコサバー・リーダー養成講座 東京 7名

○エコサバー・シニアリーダー養成講座

10月7日～9日 第5回エコサバー・シニアリーダー養成講座 東京 15名

○エコサバー・コーディネーター(総合)養成講座：今年度は実施しなかった

○NEALリーダー・PLT・プロジェクトWET資格のみ発行したセミナー

1月20日～21日 宇都宮大学「人と自然をつなぐ・人と人をつなぐB」 栃木 12名

(NEALリーダー登録者8名/PLT登録者8名/プロジェクトWET6名)

④講師紹介・派遣活動

様々なテーマに関する講師を紹介した。

4月21日・5月11日・25日・1月12日・2月13日

杉並区長寿応援ポイント事業運営懇談会・ファンド運営部会(東京) 事務局長

4月24日 大学生協連常勤学生部会学習会(東京)

事務局長

5月26日 亜細亜大学「ボランティア論I」(東京)

事務局長

6月6日・10月12日・11月13日

新宿区立余丁町小学校稲作学習・自然観察(東京) 事務局松本・遠藤

6月7日 お茶の水女子大学附属高等学校授業(東京)

事務局長

6月15日 A SEED JAPAN 「核ごみプロセスをフェアに！オープンミーティング」(東京)

事務局長

6月28日 間伐材マーク運営・認定委員会(東京)

事務局長

7月 1日	NPO・ボランティアグループでボランティア活動したい人のためのガイダンス (東京)	事務局長
7月13日	一橋大学消費生活協同組合寄附講義「食科学」(東京)	事務局長
7月13日	夏の体験ボランティア参加者ガイダンス (東京)	事務局松本
7月20日	NPO広報研究会 (東京)	事務局長
8月25日	「とりい・とりまく とり展」トークセッション (東京)	事務局長
9月 8日・3月13日	赤い羽根「災害ボランティア・NPOサポート募金・九州」運営・審査委員会 (東京)	事務局長
9月11日・12日・1月16日	エンパワメントかながわ中学校ワークショップ (神奈川)	事務局長
9月13日・2月14日	三菱UFJ環境財団選考委員会 (東京)	事務局長
10月25日	フェアウッド・パートナーズ「フェアウッド研究部会」(東京)	事務局長
11月18日	子育て研究会「森遊びの人と技・養成講座(初級)」(滋賀)	事務局岩下
11月16日・12月12日・1月12日	環境コミュニケーション大賞ワーキンググループ (東京)	事務局長
12月11日・18日	明治大学農学部食料環境政策学科「環境学入門」(神奈川)	事務局長
12月27日	全国大学生環境活動コンテスト (東京)	事務局長
1月27日	よこはま里山研究所「まちの近くの里山をいかすシゴトづくりフォーラム」(神奈川)	事務局長
2月 5日・15日	電通育英会助成団体選考委員会 (東京)	事務局長
2月11日	市民社会をつくるボランティアフォーラムTOKYO2018 (東京)	事務局佐々木
2月16日	緑のボランティア活動助成セミナー (東京)	事務局長
3月 3日	学生ボランティアと支援者が集う全国研究交流集会 (東京)	事務局佐々木
3月 3日～3月4日	全国ボランティアコーディネーター研究集会 (長野)	事務局長
3月11日	港区立エコプラザ「間伐材を使った木工・紙すきで木のぬくもりを感じよう！」(東京)	事務局岩下・松本
3月16日	高尾の森自然学校「緑地保全団体の情報交流会」(東京)	事務局長
3月21日	大学生協環境活動推進委員会 (東京)	事務局長

⑤地域活動

関東甲信越地域、関西中国地域では、活動が活発に行われている。

○北海道東北地域ブロック

森林の楽校を中心に活動を実施。

○関東甲信越地域ブロック

4月29日	日の子坂古戦場ウォーク (協力) (千葉)
7月 1日	群馬・森と酒のがっこう (群馬) 28名
11月18日	奥多摩・森と酒のがっこう (東京) 19名
3月 8日	学習会「SDGs～NPO&生協の関わりと役割～」(東京) 24名
3月20日	カキ!フェスタ (東京) 38名

※その他

「見沼保全じゃぶじゃぶラボ」の活動に協力 (埼玉)

○東海北陸地域ブロック

5月27日	揖斐川流域クリーン大作戦 (協力) (岐阜)
6月 4日	水無湿原観察会 (協力) (富山) 中止
8月25日～27日	学生演劇ワークショップ (協賛) (富山)
10月 9日	アースデイいびがわ (協力) (岐阜)

○関西中国地域ブロック

4月15日	町並みと民家を訪ねる会 (大阪) 15名
4月30日	中坪・竹林整備&タケノコ掘り (里山整備) (兵庫) 19名
5月28日	中坪・サツマイモ苗植え (里山整備) (兵庫) 12名

8月 6日	中坪・そば蒔き（里山交流）（兵庫） 11名
9月 23日	鹿害フィールドワーク in 大文字山&鹿肉料理を楽しむ会（協力）（京都）
10月 28日	中坪BAR（兵庫） 40名
11月 12日	中坪・サツマイモ掘り（里山整備）（兵庫） 11名
11月 22日	森林セラピー体験（兵庫） 5名
11月 23日	柚子狩り（兵庫） 8名
12月 10日	中坪・そば打ち（里山交流）（兵庫） 1名
1月 13日	新春上映会と懇親会（大阪） 18名
2月 3日	野鳥観察会（京都） 14名
3月 4日	中坪・森林整備（里山整備）（兵庫） 20名
3月 19日～20日	町並みと民家を訪ねる会（京都） 12名
4月 16日・5月 21日・6月 18日・7月 16日・10月 15日・12月 17日・1月 21日 2月 18日・3月 18日	青春自然塾（京都）

○四国地域ブロック

8月 4日～ 5日 樹恩割り箸20周年記念式典・イベント（徳島） 延期

○香川会

2月 17日 親子木工教室（香川） 80名

○九州地域ブロック

森林の楽校を中心に活動を実施。

⑥地域拠点のモデルづくり

地域での活動の拠点として、空き家等を活用することを進めていく。2015年度より、関西中国地域ブロックで活用することになった「高田ハウス」をモデルとして、全国に広げていけるよう努めた。なお、高田ハウスの宿泊利用は21回81名であった。

【一部再掲載】

4月 30日	中坪・竹林整備&タケノコ掘り（里山整備）（兵庫） 19名
5月 28日	中坪・サツマイモ苗植え（里山整備）（兵庫） 12名
8月 6日	中坪・そば蒔き（里山交流）（兵庫） 11名
10月 28日	中坪BAR（兵庫） 40名
11月 12日	中坪・サツマイモ掘り（里山整備）（兵庫） 11名
12月 10日	中坪・そば打ち（里山交流）（兵庫） 1名
3月 4日	中坪・森林植菌（里山整備）（兵庫） 20名
有志活動	
4月 29日・7月 2日	中坪・天役（兵庫）
4月 1日～2日・4月 15日・5月 27日・6月 3日～4日・7月 1日・8月 5日～6日 10月 7日～8日・11月 11日～12日・2月 3日～4日・3月 3日	高田ハウス整備（兵庫）

⑦プロジェクト活動

人、自然、文化等、会員から申請があった、地域ブロックでの活動の枠に収まらない規模やテーマの活動（プロジェクト活動）に対して、新規2件程度、合計20万円を補助する予定だったが、申請がなかった。

⑧田畑の楽校（はたけのがっこう）

農山漁村地域において、民宿と民泊等を利用して宿泊しながら、作業をお手伝いする援農活動を進めた。なお、森づくり活動を行っている地域でも援農に対する期待は高く、今後の開催を検討する。

ぶどうの丘 田畑の楽校（山梨）

4月 29日～30日・5月 27日～28日・6月 10日～11日・7月 1日～2日・9月 9日～10日
のべ47名

収穫祭

10月14日 5名

番外編

11月4日～5日 8名

有志活動（74日）

4月1日～2日・4月14日～17日・4月30日～5月4日・5月20日～21日・6月2日～3日

6月16日～18日・6月23日～24日・6月30日～7月1日・7月8日～9日

7月14日～16日・7月22日～23日・7月29日～30日・8月5日・8月19日～20日

8月26日～27日・9月11日・9月15日～18日・9月22日～25日

9月29日～10月2日・10月7日～8日・11月11日～12日・11月17日～18日

11月25日～26日・12月8日～10日・12月23日・1月14日・1月20日～21日

2月3日～4日・2月10日～12日・3月18日～19日・3月24日～25日・3月31日

ミーティング

8月15日・3月24日

熊野の棚田 田畑の楽校（和歌山）

5月19日～21日・6月30日～7月2日・9月16日～18日・11月17日～19日のべ22名

⑨展示会等での活動紹介

展示会等において活動の紹介を行った（44日）。

5月24日～30日 電通ソーシャルポスター展（東京）

5月28日 東京港野鳥公園フェスティバル（東京）

7月12日 國學院大學ボランティアフェア（東京）

7月20日～21日 首都大学東京ボランティアセンター・ボランティア団体フェア（東京）

11月19日 里地里山フェスティバル（東京）

12月 2日 法政大学多摩環境展（東京）

12月 7日～ 9日 エコプロ2017（東京）

12月16日～17日 大学生協・全国総会（茨城）

2月17日 もっと木育！～くまもと木育のつどい～（熊本）

2月18日 BEYOND2018（京都）

3月 1日～24日 港区立エコプラザ（東京）

⑩団体会員の方たちへの報告会

10月20日に生協、企業をはじめとした団体会員の方たち向けに報告会を行った。牧元幸司林野庁次長に出席いただき、JUONと関わりのある「日本生活協同組合連合会」「公益社団法人三菱UFJ環境財団」に森づくり活動等の報告をいただいた。

10月20日 団体会員の方たちへの報告会 25団体42名

⑪会誌発行

・5月・8月・11月・2月発行（年4回・各2400部）

第102号 5月1日発行 2,400部

第103号 8月1日発行 2,400部

第104号 11月1日発行 2,400部

第105号 2月1日発行 2,400部

⑫東日本大震災復興支援活動

阪神淡路大震災をきっかけにできた組織として被災地の復興支援活動を行った。

①七ヶ浜町、東松島市での支援活動

これまでの活動でつながりのできた地域の支援活動を継続する。

七ヶ浜タイムカプセルメモリアルの集い 5月5日

②「宮城の水産品を知り、味わい、応援しよう！」

2015年度宮城県から委託を受けたコープニュースの事業に協力したが、今年度は大学生協旅行センターの主催で実施する。

9月20日～21日 中止

(2) 森林の保全・育成・ボランティア活動に関する事業

日本の荒廃した森林を守るための活動を2017年度も引き続き行った。

①森林の楽校（もりのがっこう）

○森づくり体験プログラム「森林の楽校」 42日544名（内地元172名）※昨年555名

・森づくり体験

霧の高原 森林の楽校（群馬県利根郡昭和村）	6月17日	33名（内地元 7名）
	8月19日	31名（内地元10名）
	10月14日	14名（内地元 5名）
神の泉 森林の楽校（埼玉県児玉郡神川町）	7月 8日	26名（内地元 4名）
	9月30日	17名（内地元 3名）
	3月10日	30名（内地元 5名）
鳩ノ巣 森林の楽校（東京都西多摩郡奥多摩町）	8月27日	20名（内地元 1名）
トキの島 森林の楽校（新潟県佐渡市）	8月21日～23日	10名（内地元 4名）
	10月 7日～ 9日	8名（内地元 3名）
そばの里 森林の楽校（富山県南砺市）	7月 8日～ 9日	32名（内地元17名）
	7月16日～17日	土砂崩れのため中止
	9月16日～17日	土砂崩れのため中止
	10月 7日～ 8日	18名（内地元15名）
風の谷 森林の楽校（岐阜県揖斐郡揖斐川町）	6月17日～18日	14名（内地元 2名）
	11月11日～12日	12名（内地元 2名）
	3月10日～11日	20名（内地元 4名）
キノコの森 森林の楽校（京都府亀岡市）	11月19日	13名（内地元 0名）
四国のへそ 森林の楽校（徳島県三好市）	9月12日	18名（内地元11名）
さぬきの森 森林の楽校（香川県さぬき市）	9月24日	58名（内地元16名）
・森づくり体験＋自然散策		
白神山地 森林の楽校（秋田県山本郡藤里町）	10月 7日～ 9日	12名（内地元 6名）
会津高原 森林の楽校（福島県南会津郡南会津町）	8月28日～29日	25名（内地元12名）
水源の森 自然ふれあい楽習（群馬県利根郡みなかみ町）	8月26日～27日	35名（内地元 8名）
安曇野 森林の楽校（長野県安曇野市）	10月28日～29日	22名（内地元10名）
清流の森 森林の楽校（兵庫県宍粟市）	9月 2日～ 3日	50名（内地元 8名）
四万十川 森林の楽校（高知県四万十市）	3月16日～18日	11名（内地元 7名）
つばきの里 森林の楽校（佐賀県鳥栖市・長崎県長崎市）	11月11日～12日	15名（内地元10名）

○森林ボランティア青年リーダー養成講座 ※エコサバー・リーダー（専門）コース

第19期森林ボランティア青年リーダー養成講座＋実践編 in 東京 東京 12名

11月26日・12月9日～10日・12月23日～24日・1月13日～14日・1月28日

第11期森林ボランティア青年リーダー養成講座＋実践編 in 関西 京都・兵庫 4名

10月1日・10月14日～15日・11月25日～26日・12月9日～10日・1月14日

第1期森林ボランティア青年リーダー養成講座 in 四国 徳島・香川

9月23日～24日・10月1日・11月25日～26日・12月3日・1月21日 9名

○環境教育セミナー（大学生協ブロック共催）：特に行わなかった。

②「樹恩割り箸」の普及推進

徳島県「セルフ箸蔵」、埼玉県「江南愛の家」、群馬県「エルシーヌ藤ヶ丘」、福島県「あたご共同作業所」、東京都「山の子の家」、広島県「さくらの里」の6つの知的障害者施設での安定的な製造に努めた。なお、大学生協九州事業連合が行っているマスター登録を、他地域の大学生協事業連合でも採用できないか検討した。また、カロリーベースで日本産食材の使用量が50%を超える「緑提灯」登録店舗での利用拡大に努めた。

72大学生協 1310万膳（目標 85大学生協 1500万膳）

○大学生協以外の定期的利用

日本IBM（西洋フード・コンパスグループ）（東京）、パルシステム東京（東京）、パン・オ・スリール（東京）、渥美フーズ（愛知）、NPO法人コミュニティワークス・カフェ hanahaco（千葉）、吉野商店（東京）、中山堂（東京）、リマ新宿店（東京）、誠屋池尻店（東京）、なみの高原やすらぎ交流館（熊本）、カフェ食堂ペンネン・ネネム（千葉）、お好み焼き喜輪（東京）、ラーメン・カフェ明星（大分）、キッチン男の台所（東京）、さくら（福島）、田吾作（福島）、民宿すがや（福島）、富じ亭（福島）、マルトミ（福島）、旅館みな川（福島）、荒海農産物直売所（福島）、幸（福島）、渡（福島）、木の店ステラ（福島）、totoro（福島）、分家玉や（福島）、そば処曲家（福島）、道の駅番屋（福島）、大内宿三澤屋（福島）、ほっとハウスやすらぎ（福島）、土竜（福島）、壺（福島）、KRJ（福島）、多事（福島）、よしむら（福島）、むぎとろ（福島）、こころん（福島）、ほっと悠（福島）、まつえんどん（新潟）、箸藤本店（東京）、うどん（栃木）、群馬県庁生協食堂（群馬）、水沼温泉センター（群馬）、蕎麦処めんこい（群馬）、一心亭（東京）、雪風エンタープライズ（東京）、三次郎（埼玉）、竹茂食堂（東京）、自由の森学園（埼玉）、畔鐘（埼玉）、手打ちそばはぎの（埼玉）、うどん福福（埼玉）、せせらぎ荘（埼玉）、ヤマキ醸造（埼玉）、埼玉県木材協会（埼玉）、さいたま北部医療センター（埼玉）、エーピーエム設計（神奈川）、山鳩（東京）、鳩ノ巣荘（東京）、ビズー（広島）、わだち草（広島）、つけそば周一（広島）、広島県緑化センターレストラン（広島）、カフェ食堂ペンネン・ネネム（千葉）、BHIJホールディングス（東京）、トキワ代理店（神奈川）、キープ自然学校（山梨）、三善（静岡）、クレヨンハウス大阪店（大阪）、ビートウォール（岡山）、フードオアシスみよし（広島）、盈進学園（広島）、徳島県身体障害者連合会（徳島）、徳島県庁生協食堂（徳島）、徳島県西部森林組合（徳島）、神山町林業活性化協議会（徳島）、太陽がいっぱい（徳島）、第一化成（高知）、居酒屋やこやこ（福岡）、マキイ（福岡）、ハーベストキッチン（長崎）

○緑提灯店での利用

ラーメン札幌一粒庵（北海道）、片品村振興公社かたしなや（群馬）、花咲の湯（群馬）、居酒屋山路（埼玉）、うまいもん処割烹鉄ちゃん（東京）、レストラン樹庵（岐阜）、とんちゃん焼はしもと（滋賀）、居酒屋ほんわか（京都）、おでんまどか（兵庫）、農家レストラン西野（広島）、麺や那珂川（福岡）

○学園祭・お祭り等での利用

土居自然学校（福岡）、大阪大学いちょう祭（大阪）、名古屋大学名大祭（愛知）、東京大学五月祭（東京）、あけぼのこども園夏まつり（京都）、お茶の水女子大学附属高等学校輝鏡祭（東京）、應義塾大学矢上祭（神奈川）、岩手大学不来方祭（岩手）、関西学院大学生協生協祭（兵庫）、はあとびあ祭（東京）、三島バル/さいとうフルーツ（静岡）、お茶の水女子大学徽音祭（東京）、東京大学駒場祭（東京）、「100年ごはん」上映会 in 府中（東京）、立正大学星霜祭（埼玉）、大阪大学まちかね祭（大阪）、宇都宮大学峰ヶ丘祭（栃木）、高崎経済大学三扇祭（群馬）、成城大学大学祭（東京）

○8月 4日～ 5日 樹恩割り箸20周年記念式典・イベント（徳島） 延期

○割り箸工場見学ツアー

11月 4日～ 5日 愛媛大学生協森林・林業研修（徳島）

③「樹恩の森」の運営

JUON NETWORKが所有する、あるいは、責任を持って管理する森林の保全に努めた。

○「大学の森」

所有する徳島県三好市の「大学の森」を積極的に活用するよう努めた。

○「埼玉県100年の森」

01年度総会記念イベントにおいてトチノキを植林した、埼玉県児玉郡神川町の「埼玉県100年の森」の保全活動を「神の泉 森林の楽校」の際に行った。

④「緑の募金」の推進

団体会員及び樹恩割り箸を利用している大学生協を中心に「緑の募金」の設置を行っている。現在82大学生協に募金箱を設置しており、ご金額は以下の通り。

麻布大学生協	3620円		
東京外国語大学生協	988円		
広島大学生協	50444円	合計	55052円

⑤ヤングジュオン（森林ボランティア青年リーダー養成講座卒業生が中心）活動

○東京ヤングジュオン

第18期までの森林ボランティア青年リーダー養成講座の卒業生を中心に、東京都奥多摩町「鳩ノ巣フィールド」を拠点に森づくり活動を行っている。07年度まで東京都主催、08年度から森づくりフォーラム主催となった「大自然塾」に協力した（なお、事務局をJ.U.O.N NETWORKが担当する）とともに、「鳩ノ巣フィールド連絡協議会」に参加し、日常的にも活動を行った。なお、定例活動（毎月第2土曜日に森林保全活動）に加え、「地域密着チーム」「間伐材活用チーム」「都市で伝えるチーム」等のチームに分かれ有志活動を行った。また、「鳩ノ巣 森林の楽校」（東京）の運営も行っている。

定例活動（毎月第2土曜日）	4月 8日	6月10日	7月 8日	8月19日
	9月 9日	10月14日	11月18日	2月10日
	3月10日			
有志活動				
・地域密着チーム	5月 7日	6月11日	8月 6日	3月 3日
幻のイモ収穫と沢涼み	7月22日			
おくたま夏祭り屋台と沢涼み	8月 5日			
畑を耕し野菜の種まきと沢涼み	9月 2日			
地域密着おくたま食の体験	11月19日			
地域密着おくたま畑と食の体験	3月 4日			
・都市で伝える+新しいことチーム	4月 1日	4月23日		
・都市で伝えるチーム				
ミーティング	2月20日	3月19日		
・間伐材活用チーム	3月24日～25日			
ミーティング	5月18日	3月19日		
大自然塾（毎月第3日曜日）	4月16日	5月16日	6月18日	7月16日
	8月20日	10月15日	11月19日	12月17日
	1月21日	2月18日	3月18日	
大自然塾～学生編～	8月 6日	11月23日		
鳩ノ巣連絡協議会（毎月第1月曜日）	4月 3日	5月 8日	6月 5日	7月 3日
	8月 7日	9月 4日	10月 2日	11月 6日
	12月 4日	1月 9日	2月 5日	3月 5日

○関西ヤングジュオン

第10期までの森林ボランティア青年リーダー養成講座の卒業生は、月1回の「青春自然塾」（京都府亀岡市）や「中坪・里山整備」（兵庫県宍粟市）等に参加している。なお、「キノコの森 森林の楽校」（京都）、「清流の森 森林の楽校」（兵庫）の運営も行った。

【再掲載】

青春自然塾	4月16日	5月21日	6月18日	7月16日
	10月15日	12月17日	1月21日	2月18日
	3月18日			

森林の楽校（宍粟）実行委員会	4月23日	5月21日	6月9日	7月12日
	8月20日	11月18日		
有志活動				
・中坪・天役	4月29日	7月2日		
・高田ハウス整備	4月1日	4月2日	4月15日	5月27日
	6月3日	6月4日	7月1日	8月5日
	8月6日	10月7日	10月8日	11月11日
	11月12日	2月3日	2月4日	3月3日

⑥「多摩の森・大自然塾 鳩ノ巣フィールド」の事務局活動

07年度まで東京都主催、08年度から森づくりフォーラム主催となった「多摩の森・大自然塾 鳩ノ巣フィールド」の事務局を担当する。イベント開催経費、事務局経費等はコープみらい、BESSフォレストクラブ、かんぼ生命からの寄付等によって賄われた。なお、今年度は、のべ373名（内スタッフ166名）の参加があった。

【再掲載】

大自然塾（毎月第3日曜日）	4月16日	5月16日	6月18日	7月16日
	8月20日	10月15日	11月19日	12月17日
	1月21日	2月18日	3月18日	
大自然塾～学生編～	8月6日	11月23日		
鳩ノ巣連絡協議会（毎月第1月曜日）	4月3日	5月8日	6月5日	7月3日
	8月7日	9月4日	10月2日	11月6日
	12月4日	1月9日	2月5日	3月5日

⑦トキ野生復帰活動

08年から17回にわたって放鳥された佐渡島のトキ野生復帰活動に対して、森林の楽校の実施を中心に新潟大学「朱鷺・自然再生学研究センター」と協力しながら進めた。

【再掲載】

トキの島 森林の楽校（新潟県佐渡市）	8月21日～23日	10名（内地元 4名）
	10月7日～9日	8名（内地元 3名）

⑧間伐材製「ベンチ」の普及推進

香川県の「ベンチの会」と協力して、「ひのきっこ・小さなイスづくり運動」を進めた。

⑨「樹の紙」製品の普及推進

09年度、山村再生プランに認定され助成金をいただいた、『樹の紙』を活用した商品開発と障害者等との連携による産業づくりから生まれた「樹の紙」を使った製品を推進した。なお、製造は、徳島県「ワークサポートやまなみ」（精神障害者施設）で行っている。

⑩企業の森づくり活動の支援

東京都奥多摩町「鳩ノ巣フィールド」他、積極的に企業の森林ボランティア体験の受け入れを行う等、企業の森づくり活動に協力した。

NECグループ労働組合連合会（静岡県伊豆の国市）	4月15日
（東京都青梅市・青梅の森）	10月6日・7日
（東京都奥多摩町・鳩ノ巣フィールド）	10月28日
株式会社アールシーコア（BESSフォレストクラブ）のコーディネーター	
BESS本社（東京都青梅市・青梅の森）	5月27日
	8月26日
	11月18日
	2月24日
太陽生命保険株式会社（栃木県那須塩原市・太陽生命の森林）	7月22日～23日
	11月11日～12日

太陽生命の森林「森林教室」
株式会社チョイスホテルズジャパン（三重県四日市市・少年自然の家）
（東京都青梅市・青梅の森）

5月27日～28日
9月23日
10月16日

⑪生協の森づくり活動の支援

07年度より継続している、コープみらい（旧さいたまコープ）の「秩父の森」の活動に協力した。また、「多摩の森・大自然塾 鳩ノ巣フィールド」の開催等を通じて、コープみらい（旧コープとうきょう）の森づくりに協力した。なお、来年度からパルシステム東京の「いなぎめぐみの里山」の竹林整備をお手伝いすることになり、今年度は実験的に活動を実施した。

コープみらい秩父の森

・イベント	4月22日	5月14日	7月1日	9月16日
	10月21日	11月23日	12月16日	3月18日
・地区企画	7月28日	8月9日	8月23日	8月24日
	8月25日			
・森を守る応援団	4月22日	5月14日	6月3日	7月1日
	9月16日	10月21日	11月23日	12月16日
	3月3日	3月18日		
・ボランティア体験講座	5月14日	9月16日	12月16日	
・地域保全活動	6月11日	8月20日		
パルシステム東京「いなぎめぐみの里山」				
・イベント	12月2日	2月24日		

（3）過疎の廃校を活用したセミナーハウスの運営・支援に関する事業

森林の楽校での活用の他、情報の収集と発信を中心に活動を進めた。

- ①全国の廃校に関する情報の収集・発信
- ②秋田県藤里町の廃校活用施設「白神ぶなっこ教室」の支援
- ③新潟県佐渡市の廃校活用施設「鳥越文庫」の支援
- ④富山県南砺市の廃校活用セミナーハウス「Starforest 利賀」の支援
- ⑤岐阜県揖斐川町の廃校活用セミナーハウス「ラーニングアーバー横蔵」の支援
- ⑥高知県四万十市の廃校活用セミナーハウス「四万十楽舎」の支援

（4）地方文化の発掘と普及に関する事業

情報の収集と発信を中心に活動を進めた。

- ①全国の地域文化に関する情報の収集・発信

（5）共催事業

JUON NETWORKとして、実行委員会等に参加し、事業の実施に協力する。

森林と市民を結ぶ全国の集い in 京都	6月10日～11日
ボランティア推進団体会議 in 静岡	6月17日～18日
Reborn こころのふるさとフォーラム	3月3日～4日

3. 組織・財政に関する事項

(1) 会員の状況

前年度（2016年度）末から本年度（2017年度）末までの会員の推移は以下の通り。

	16年度	新規会員	退会	17年度
個人会員	452名	59名	76名	435名
学生会員	20名	14名	11名	23名
家族会員	18名	3名	5名	16名
団体会員	98団体	2団体	2団体	98団体

※新規個人会員には、学生会員から個人会員に変更の3名、新規学生会員には、個人会員から学生会員に変更の1名を含む。なお、退会個人会員、退会学生会員にもその数が反映されている。

(2) 寄付の状況

本年度寄付をいただいた団体は以下の通り。団体も同様だが、個人については会誌に掲載している。

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社（Web約款による寄付）
エコバシ株式会社（割り箸利用の際の寄付）
風の谷応援隊（森林の楽校の際の寄付）
株式会社鎌倉新書（『社会貢献団体ガイドブック』を通じた寄付）
株式会社かんぽ生命保険寄付プログラム／公益社団法人日本フィランソロピー協会
（「ご契約のしおり・約款」のWeb閲覧数に応じた寄付）
NPO法人九千部クラブ（森林の楽校の際の寄付）
gooddo株式会社（クリック等による寄付）
株式会社グリーンズ／株式会社チョイスホテルズジャパン（会員の宿泊日数に応じた寄付）
一般財団法人コープみらい社会活動財団／生活協同組合コープみらい（多摩の森・大自然塾への協賛）
全国大学生協共済生活協同組合連合会
ソフトバンク株式会社（かざして募金）
公益財団法人損保ジャパン日本興亜環境財団（インターンシップ受入への協賛）
西多摩自然フォーラム（森林ボランティア青年リーダー養成講座の際の寄付）
日本アイ・ビー・エム株式会社／西洋フード・コンパスグループ株式会社（樹恩割り箸）
ノマド（森林の楽校の際の寄付）
公益財団法人パブリックリソース財団（オンライン寄付キャンペーン）
富士ゼロックスシステムサービスボランティア基金／富士ゼロックスシステムサービス株式会社
（従業員の積立による寄付及び会社によるマッチングギフト）
プルデンシャル生命保険株式会社（e-約款による寄付）
BESSフォレストクラブ（森林の楽校、多摩の森・大自然塾への協賛）
よつ葉生活協同組合（割り箸利用の際の寄付）

(3) 助成金・補助金の状況

本年度いただいた助成金・補助金は以下の通り。

公益社団法人国土緑化推進機構 緑と水の森林ファンド公募事業
公益財団法人東京都農林水産振興財団 緑の募金公募事業
公益財団法人兵庫県緑化推進協会 森と緑とのふれあい支援事業
Panasonic NPOサポートファンド【環境分野】

(4) 全国事務局体制

常勤職員 鹿住貴之（事務局長） 松本貴久（広報担当） 佐々木俊宙（事業担当）
非常勤職員 岩下広和（週3日） 遠藤紗穂里（週3日） 富井久義（週3日）
業務委託 蓮見澄
インターン生 稲垣理美 菅原怜佳（損保ジャパン日本興亜環境財団） 谷内一貴（明治大学）
その他 東京しごとセンター仕事体験（3日間） 1名